

# 令和2年 第4回全員協議会会議録

令和2年3月13日 議員控室

## ○事 件

町長報告事項

新型コロナウイルス対策について

- (1) 学童保育所等への国の緊急対策特例措置について（住民生活課）
- (2) 町内の経済施策について（商工観光労政課）
- (3) 学校給食停止に伴う牛乳の消費拡大について（農林課）

## ○出席議員（13名）

議長	能登谷 正 人 君	副議長	黒 島 竹 満 君
	関 口 正 博 君		佐 藤 智 子 君
	横 田 喜世志 君		大久保 建 一 君
	斎 藤 實 君		赤 井 睦 美 君
	三 澤 公 雄 君		田 中 裕 君
	牧 野 仁 君		宮 本 雅 晴 君
	千 葉 隆 君		

## ○欠席議員（1名）

安 藤 辰 行 君

## ○出席説明員（14名）

町長	岩 村 克 詔 君	副町長	吉 田 邦 夫 君
副町長	萬 谷 俊 美 君	総務課長	三 澤 聡 君
財務課長	川 崎 芳 則 君	住民生活課長	川 口 拓 也 君
住民生活課長補佐	菅 原 真紀子 君	商工観光労政課長	藤 牧 直 人 君
農林課長	加 藤 貴 久 君	農林課参事	荻 本 正 君
農業振興係長	宮 下 洋 平 君	政策推進課長	竹 内 友 身 君
保健福祉課長	戸 田 淳 君	学校教育課長	石 坂 浩太郎 君

## ○出席事務局職員

事務局長	井 口 貴 光 君	事務局次長	成 田 真 介 君
庶務係長	松 田 力 君		

[ 開会 午後 1時00分]

### ◎ 開会・議長挨拶

○議長（能登谷正人君） みなさんどうもご苦勞様です。急遽、全協が入りましたので、お疲れのところすみませんけれども、よろしく願いいたします。ただいまから全員協議会を開会いたします。議長挨拶は割愛させてもらって、早速、町長報告事項に入らせてもらいます。

### ◎ 町長報告事項

○議長（能登谷正人君） 新型コロナウイルスの対策についてということで、3点ほどありますが、ぜひ説明お願いいたします。

○町長（岩村克詔君） 議長。町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 議員の皆様には本会議終了後の大変お疲れのところ全員協議会を開催していただき大変ありがとうございます。まずはですね、八雲町内のコロナの確認でありますけども、先月の27日以来ですね、15日間、約半月に渡って確認はされていませので、これからですね、もしもまた陽性反応や確認が出た場合には、速やかにまた皆さんにもお知らせをいたします。しかしながらですね、議員の皆様からも質問のあります、行動半径等々はですね、いろんな部分については個人情報やですね、いろんなことがありますので伝えられる部分は伝えますけれども、その辺はご勘弁をいただきたいと思えます。

続きまして、本日の報告内容でございますが、新型コロナウイルス流行に伴う対策について地域経済に及ぼす影響が大変大きいことから、国においてもさまざまな対策を打ち出しており、その対策にスピーディーに答えることや、即効性のある対応をするため現時点で検討してる3点についてご報告をさせていただきます。この中には国の補助金の関係などから令和元年度補正予算で対応するもの、令和2年度予算で対応するものもあります。令和元年度予算対応につきましては、事業費のとりまとめや事業執行の関係から臨時会を開催する時間的余裕がありませんので専決処分をお願いしたいと考えています。また、町内経済対策の令和2年度予算につきましては27日に臨時議会を開催して対応したいと存じますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。それでは対応内容につきましてはそれぞれの担当課長からご説明を申し上げますので、よろしくお願いいたします。

○議長（能登谷正人君） 町長からの報告がありましたけども、これから担当課のほうで説明をお願いいたします。

○住民生活課長（川口拓也君） 議長。住民生活課長。

○議長（能登谷正人君） 住民生活課長。

○住民生活課長（川口拓也君） それでは、私からは新型コロナウイルス感染症にともなう、学童保育所等への国の緊急対策特例措置の内容を説明させていただきます。なお、本特例措置の一部につきましては、一昨日の夜間にですね急遽厚生労働省から北海道を經由して入

ってきた情報でありますので、いまだ詳細なものが来ていないため、大変申し訳ございませんが、口頭での説明となりますことをご了承願います。

この度の学童保育所等への対する国の緊急対応特例措置につきましては、おおざっぱに申し上げますと、2種類のものでございまして、1つめは前回の全員協議会のほうでもご報告させていただきました、小学校の臨時休校に伴う学童保育所の開所に対する追加補助金でございます。この追加補助金の要件といたしましては、3月2日から春休みまでの平日の午前中にですね、学童保育所を開所して、児童を受け入れた場合の特例措置となつてございまして、補助金額はすべて一定額で一律でございます。まずは平日の午前中に開所した学童保育所、1施設当たり1日一律30,200円、さらに障がい児を受け入れる体制が整っている学童保育所1か所うちにもございしますが、その場合には1施設あたり1日一律12,000円が加算されます。これら要件に現在の当町の状況を当てはめると、学童保育所を3か所開設しており、春休みまで平日の開所日数が13日間ありますので、補助金の合計額としては、およそ130万円と試算しているところであり、これらすべて全額国庫補助金の対象となります。

またもうひとつのですね、特例措置でございますが、保育所、認定こども園、学童保育所等における新型コロナウイルス感染防止予防する対応諸経費への補助金でございます。内容といたしましては、各施設において新型コロナウイルス感染予防対策として1月16日から3月31日までの間に購入納品した消耗品や備品等への経費への補助金でございます。上限額は1施設当たり合計で50万円以内とされており、先ほどと同様にですね、全額国庫補助の対象となるものでございます。なお、こちらの補助金につきましては、大変短いお時間なんですけれども、現在各施設へ購入状況等を調査中であるため、総額はどのくらいになるかはつかめておりません。以上簡単でございますが、この度、急遽国から情報が入ってきた緊急特例措置の概要を説明させていただきましたが、いずれの特例措置も令和元年度分の予算で対応するよう指示があり大変短い時間の中で各施設のご協力を得ながら、なんとか期間に間に合うよう対応しているところであります。なにぶん毎日ですね、さまざまな情報が国から入ってきておりまして、その詳細を道へ確認してもですね、多々不明点があるような状況でございます。よって今後やはり軽微な変更もありますので、なにとぞご理解をお願いいたします。以上でございます。

○議長（能登谷正人君） ただ今課長のほうから説明がありましたけれども、なにかご質問がありましたら。ないですね。令和元年度、3月31日までに全部買ったものは全部国で持つと、こういう説明でしたよね。大変良いことでいっぱい買って。ということですので、そのための臨時会が27日に臨時会を開きますので、どうぞよろしく願いいたします。次に町内の経済施策についてということで商工観光労政課から。

○商工観光労政課長（藤牧直人君） 議長。商工観光労政課長。

○議長（能登谷正人君） 商工観光労政課長。

○商工観光労政課長（藤牧直人君） それでは私からは、町内経済に対する施策についてということで、資料に1から5まで記してございますけど、これについて説明させていただきます。あいにくですね、まだ調整中のもの等がございまして、口頭になることをご了承いただければと思います。先般の本会議でも方向性についてはお話したとおりでございますが、

2月中下旬からですね、町内への経済影響ということで商工会等とですね、町内事業者ヒアリング、それから商工会相談の内容を共有しながら町長とも相談してですね、この対策の5つの柱を決めたということでございます。

はじめにですね、金融機関への要請ということで、初期段階におきましては、どうしても売り上げ悪化による資金繰りですね、特に資金スパンの短い飲食、それから宿泊の小規模、それからその後ですね影響が出てくるのはおそらく小売、製造卸売、この辺だと思いますが、このですね短期的な資金繰りをなんとか益を繋がせるということで、ここにつきましては町はもとより商工会、それと要になりますので市中金融機関ということで、まずはですね常日頃金融機関ともいろいろ相談をさせていただいておりますが、特に金融機関については行政施策について強力に連携をとっていただきたいということで、二つの要請事項、一つはまずは取引事業者に対する十分な相談対応と、企業債務の条件緩和等ですね、柔軟な対応をいただきたいということ。もう一つは先ほど申し上げました町が実施する施策。そのほか公的資金制度に対してですね、弾力的な運用、それからスピーディーな運用を、ともに心がけていただきたいという2項目をですね、月曜日16日の午前中にですね、町長、それから商工会長の連名により、北洋銀行、それから渡島信用金庫、さらには道南うみ街信用金庫、この3行に対して、早速要請活動を行うということで、調整をしております。

続きまして②の国、道の制度融資の円滑な斡旋。これもですねまずは国、それから道の制度融資につきましても密接に我々が斡旋調停、それから認定事務、それから金融機関における実行、それぞれ制度によってはやり方が違うのですが、必ず嚙んできますので、このですね実務レベルで円滑に進めるということで、実はですね、今朝方も国ですね、無利子無担保制度、まだ方針は出てるんですが、制度設計詳細を示されておりません。そのためにですね、その他のセーフティーネット資金というものに対して、相当、道内でもですね、全国でですね、経済産業局ですね、ここに問い合わせが入っておりまして、パンク状態だということで急遽、道が肩代わりして相談にも乗るといようなスキームに変えるということもきてございます。また政策金融公庫を通じた無利子無担保が発動されると、パンク状態になる可能性は多分にあります。こういったことも含めてですね、実務レベルで円滑に進めるためにですね、役割分担を明確にしたりですね、流れを確認するという行為を行っております。これにつきましては実は昨日もですね、町長、それから商工会の副会長が出席のもとですね、町と商工会でいろいろと流れについてですね、確認をしたということもございます。今後もぜひやっていくということでございます。

次に3番目でございますが、これがですね、おそらく町の施策の目玉になろうかと思えます。今回のですね、資金繰りに対して、国民政策金融公庫の無利子無担保、これにつきましてはおそらく枠の問題、それから極端に言いますと早い者勝ちというようなところもございまして、当然あふれてくると。そのほかそれ以降につきましては公的制度があるんですが、当然利息は付きます。このため、信用保証料、これとそれから利子ですね、これにつきましてはこういった公的制度を利用するものにつきましては町内事業者の負担をなるべく軽減するという観点から町のほうで利子補給、それから保証料の補給こういったものを資金手当していきたい。またさらに町も我々制度資金を持っておりますので、現在は保証料補給のみ中小企業振興ということでやっておりますが、同様にここについても保証料補給に加え

てですね、利子補給を行いながら町内事業者が取りこぼれないよう、またですね負担を少しでも軽減するという事で現在、商工会と制度設計、要領変更ということでございますので、行っている最中でありましてとともに資金所要額こちらについても現在推計計算をして行っておりますので、これがまとめ次第ですね、補正予算対応をしていただきたいというふうに考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

引き続きまして4番ですね、町税及び町に対する使用料等の支払に関する相談対応ということで、資金繰りが悪くなって当然固定費の支払、税を含めてですね、大変な時期に入ってくると思われまして。これにつきましては従前もそうですがそれぞれの事情に応じてですね、支払いを伸ばすですとか、それぞれのルールによって違うものもありますけど、町内その辺周知してですね、柔軟に対応していけるようにまずは相談していただきたいということに努めていただきたいと思っております。

最後に5番目でございますが、これはもうちょっと先になろうかと思いますが、●●まず資金手当てして事業継続を行った後ですね、売り上げ回復によって体力をもう一度持ち直していただくために、たまたま今回議決いただきました商工会を通じてのプレミアム付き商品券、これは消費喚起の起爆剤でございますが、国も同じようにおそらくプレミアム付き商品券ですとか、キャッシュレスのポイント増額、それから以前行いました復興割ですね、特に旅行業、宿泊業、こうしたものを発動してくるとは思いますが、そこら辺の状況も見ながら町として商工会も工夫して例えばプレミアム付き商品券の、例えば飲食枠、これは例えばの例でございます。さらに足りない分については、皆さんと相談のうえですね、すぐ手だてを講じて、これは春以降ということで考えております。いずれにいたしましても、また来週からですね、商工会、それから金融機関、行政と連絡を取りあいながら3月19日にはそれに関する金融懇談会というかたちでですね、正式な会議も予定しています。状況を見ながらですね、町内事業者の負担軽減、それから事業継続というものに努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○議長（能登谷正人君） ただ今商工観光のほうからいろいろ説明がありました。考えられることを5点ほど挙げてきておりますけども、この中で説明、もちろんあった中での質問とそれからもうひとつは、もっとこうしたほうがいいのかっていう意見がありましたら出していただきたいと思っております。何かありませんか。

○10番（田中 裕君） はい。

○議長（能登谷正人君） 田中君。

○10番（田中 裕君） これから我々が未だかつてないような経済状況に陥ると思うんですよね。それで、町長トップにした対策本部っていうのかな、やることは同じだと思うんですけども、いち早く立ち上げて町民の方々に安心を与えるって意味でも、やってること大した変わらないんですけども、そういう体制の構築化を図ったほうがいいのかと思うんですよね。これはお金もかかりませんから何とかそういう方向で、これからいろいろな事態が想定されますけども、そういうものを立ち上げておいた方がこれからのいろんなものに対する対応がスムーズに取り運びするのかなっていう気がしますが、町長いかがでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 議長。町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 田中議員おっしゃるとおりだと思います。対策本部、任意でありますけれども立ち上げています。この対策本部はどちらかというと、感染のほうのですね、対策であります。これからはですね、経済を含めた対策をとということでありますので、それは私を中心としながらやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○10番（田中 裕君） 工夫してください。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（能登谷正人君） ほかにありませんか。

○14番（千葉 隆君） はい。

○議長（能登谷正人君） 千葉さん。

○14番（千葉 隆君） 融資の対応、1から4ということで、当然必要なことなんですけれども、要するに1から4というのは運転資金で普通、事業やるっていったら2か月間くらい稼働していなくても内部留保持ってるというか、そしてそれ以上持ってる企業があるかもわからないけども、それが無い企業がある。あるいは法人、あるいは個人事業者が、だっていうことだから、要は通常これまでも内部留保ほとんどないような状況で運営していたと。それで一時的に借り入れをおこすのはいいけれども、利子補給とかもするのはいいけれども、要するに元金なんですよね。返さなければならぬから。要は今までも貯めれない状況、それで返済するときには今まで以上の売り上げないと返せないということだからそのところがやっぱりある程度厳しいってところの、一時的にね、乗り切ったとしても今まで以上の売り上げしていかないと返済できないという状況にまたなるわけだから、その部分にある程度、⑤ということで売り上げ回復って言うんですけれども、回復だけではなくて上積みをするような、できるような対策をやっていかないと持たないっていう企業が今借りるという逆に言えば認識していかなければならないので、プレミアム付き商品券だとかその辺も確かに必要なことだと思うんです。今町長さんが得意分野のふるさと納税のところ見れば、さとふる見れば先に寄附で地域応援をするということで、旅館業とかに掲載されてるし、あと花を飾って地域応援ということで2つ売ってるんですよね。それからさとふるとチョイスのほうは給食関連の事業の支援とかそれから外食関連の事業支援だとか、感染者対策の支援だとか、医療対策だとか5項目あるんですけども、この辺やっぱりある程度ノウハウ、八雲町もその辺の先進地域だから、その辺の対応はどうなってるのか、まずお聞きをします。

○町長（岩村克詔君） 議長。町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 千葉議員ですね、本当にいい考えだと思います。ただ我々が考えたのはさとふるにからめるよりは、その例えばさっき言った飲食枠だとか、これから多分、国もですね、さっき言ったホテルなんか飲食業を使うような、●●をしてくるというようなことを想定されますので、これ一時ちょっと落ち着いた中でですね、まだ集団で集まるのは難しい中でありまして、それはまた我々としても考えていきたい。たださとふるというのは、これからちょっと帰って議論をしてみたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○14番（千葉 隆君） はい。

○議長（能登谷正人君） 千葉さん。

○14 番（千葉 隆君） 後じゃなくて、今お金集めて後で宿泊するっていうことだから結構先じてやってるので、ちょっとチェックして全部できないと思いますし、やっぱり藤牧課長が言うように旅館関係、飲食関係、そっちが一番最初に厳しいものですから、その辺動向を見て導入してほしいなど。導入できるところはね。お願いしたいのがまず1点。

あと、これから喚起を今まで以上に設けなければいけないということからすれば、意外と通常のPRも八雲町のPRもしていかなければならないと思うんです。いろんなコロナに直接な部分もあるけども、やっぱり八雲町の知名度という部分でいえばマスコミとかもあるんだけど、単に直接的なPRもあるけれども、八雲っていうところをね、もう一回いろんなマスコミを使ってやるんだろうけども、これコロナ対策とは直接関係ないけども、昨日深夜番組で、ハンバーガーボーイズで町の歌作ってみませんかというのを昨日は知内バージョンだったんだよね。だから16くらい作ってるって。179の。だからそういうところに例えば応募かけるだとか、あるいは同じ時間帯で北海道ドローン紀行とかやってるので、そういうところにかけるとか、今すぐっていうのは難しいかもわからないけども、一方でそういうことをやって後で経済が、地域が良くなるということも直接ではないけれども大切かなと思うんですよね。ただこれをやれってことじゃなくて、そういう発想をしていって、要するに今まで以上に売上げを地域で出さなければならぬというような施策を考えていかないと枯れるに枯れれないっていう事業者も存在するんだよということも理解してほしいなど。返す返済見込みないのに借りれないという。やっぱりそこには地域経済の全体的な年々の減収傾向にあるからね。町のPRだとかというの、もう一方やっていかないと、その先の部分は大変なのかなと思うので、そういった発想で考えてもらえるのかなという感じ。

○議長（能登谷正人君） いろんないい案もできましたので、ぜひ参考にしてもらえれば、何度もアタックしてみてください。

○町長（岩村克詔君） はい。

○議長（能登谷正人君） ほかに。今千葉君の意見のほかに何かこういうアイデアどうなんだというのは何かありませんか。

○2番（関口正博君） はい。

○議長（能登谷正人君） 関口君。

○2番（関口正博君） コロナの影響もそうなんですけども、今の状況がちょっとわからないですけども、この影響というのはコロナが下がったりしても夏とかまで続くような気がするんですよね。それで今年度八雲町で出す公共工事、出せるものは早めに出して、工事の隙間をなくするというのも大事じゃないかなと思いますけども、どうでしょう。

○町長（岩村克詔君） 議長。町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 工事の発注についてですね、関口議員のおっしゃっているとおりだと思いますので、それはこれから予算も通りましたので、担当課とご相談をしながらですね、早めに発注できるように準備をしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○議長（能登谷正人君） ぜひ早い手当てをお願いいたします。ほかにいいアイデア持っている人いませんか。それではこの件はこれでよろしいでしょうか。それでは、2番目の経済の施策に何か思いついたことがありましたら、後で藤牧さんのほうにでも電話でもいいですから、アドバイスしてもらえれば大変良いんじゃないかと思っていますので、よろしく願いいたします。それでは3番目の学校給食停止に伴う牛乳の消費拡大について、農林課のほうから。

○農林課長（加藤貴久君） 議長。農林課長。

○議長（能登谷正人君） 課長。

○農林課長（加藤貴久君） それでは学校給食停止に伴う牛乳の消費拡大についてご説明申し上げます。まだ検討段階の部分が多く、今ペーパーをお示しできないこと、口頭説明になることをお許しいただきたいと思います。

皆さんご承知のとおり新型コロナウイルス感染者に対応した臨時休業につきましては当町におきましても、全小中学校高等学校で実施されております。臨時休業による学校給食の停止により給食用牛乳による製造販売が止まっている状況にあります。学校給食以外においても外食の機会が減少するなど、牛乳乳製品全体の消費の減少が懸念されているところであります。また学校給食用牛乳は成長期の児童生徒のたんぱく質補給源として重要であり、また家庭で不足するカルシウムを補完する重要な役割を担っているというふうに認識しております。これらの状況も踏まえて町としては牛乳消費拡大並びに臨時休業中の児童生徒に牛乳を飲む機会を増やしてもらうことを目的に町内で小中学校ならびに高等学校の児童生徒に対して八雲町内産の牛乳1ℓパック1本程度を配布することを検討しております。具体的なことは現在各教育委員会も含めて検討中ではありますが、配布方法につきましては、現在、3月中に予定されてます分散登校がこれから各学校で行われると聞いています。そちらの機会を利用してですね、実施をしまいたいというふうに考えていることであります。このことにより、牛乳消費拡大が図られ、強いては町内農家の支援にもつながると考えておりますので、現在内容を精査中でありまして、決まり次第また情報を皆様と共有させていただきたいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

○議長（能登谷正人君） ただいま、給食停止になった牛乳、八雲の第一産業ですので、何かご質問ありましたら。

○14番（千葉 隆君） はい。

○議長（能登谷正人君） 千葉君。

○14番（千葉 隆君） 学校給食費は町が全面支援している状況の中で、使わなくてもいい原資を有効に使うということではいいと思うんですけども、小中学校にこだわる必要はないんでないのかなって。実はさ、やっぱり高齢者のほうが栄養付けられないしなかなか買い物に行く機会も少なくなってるので、そういった視点も必要でないのかなってというのがまず1点。

それと長野県も牛乳やってるみたいなんだけど、企業の助け合いキャンペーンっていうのをやってるんですね。要するに町内産の例えばネギ、今、町長さんの情報ではもともと軟白ネギもこれに関係なくして値段安いよ、消費拡大してないよ。だからその、物をどこで売ってかということを通じて、長野県だったら、役場で販売したり、どこかの企業で販売し



たりとか、どうやって町内で販売させるかってことも考えてみたいなので、やっぱり何の品目が八雲で可能なのかということも分からないけれども、牛乳以外にもあるんでないのかなって思うんですよね。そういうのも直接地域の助け合いキャンペーンみたいなかたちで直接的に町内で消費拡大、支援できるような部分をPRしてね、それでそこ、要するに100円で売るつもりのところを、50円で売ると。だけでも生産者には100円ですよってことは50円分はどこで負担するかってことは分かると思うけども、そういう支援の仕方っていうのが即効性あって、逆に言えばお金借りなくてもいいんだよって。そういう視点が直接必要なのかなって感じするんですよね。それが酪農家と畑作でいろいろあると思うのでね、その辺のバランスいい支援の仕方っていう、うまくいかないと思う。この品目によってはバランス。でもやらないよりもやりましょうという姿勢を作ってね、こちらも全部は助けられないけども、こちらのほうは助けるとかばらつきあってもいいと思うんですよね。なかなかこういう事態で左右一列に綺麗に平準化して平等性をもってやるっていうのもなかなか難しいからね。だからこういうことはできるよっていう部分にやれる支援のほうが逆に言えば個々の農家さんとか飲食の関係も含めて一番助かることかなって。その辺ちょっと工夫してほしいなと思います。

○町長（岩村克詔君） 議長。町長。

○議長（能登谷正人君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 大変ですね、いい意見だと思います。今ですね、私も昨日たまたま休会日でございましたので、農家、農協の関係者から話を聞いたらですね、また商工会、商工業者、さらに漁業のですね、八雲町漁協、落部漁協ということでいろいろ話を聞きました。やはりですね、その今先ほど牛乳って言いましたけども、まずはこの牛乳を今加工に入っています。加工牛にいつてますけども、多分これも給食がですね、止まっているうちはその内だぶついてですね、今乳牛の搾乳をしてる農家の方々もですね、昔はありました牛乳に食紅を使ってですね、廃棄するまでいくんじゃないかって、そんな思いをしてる方もいますので、今千葉議員さんからいい意見をいただきましたので、ふるさと納税もですね、少し上向きで進みますので、その辺も使いながらですね、欲しい方にはですね、格安でということもちょっと考えており、さらにネギという話もありました。そしてホタテのほうもですね、聞くところによると今結構上がってるそうです。それで値段のほうもですね180円200円ということで●●ができると。しかしながら1番困ってるのが、蔵がないと。冷蔵庫がないと。今消費ができませんので、どんどん今上がっていてオホーツクののが上がっててみんな冷蔵庫に入れてると。多分もう一杯になったら大変なことになるんじゃないかということもね、漁協からお聞きしていますので、その辺も含めてですね、千葉議員さんからいい意見が出ましたので、これから持ち帰って考えてですね、消費拡大、さらにですね、地元のものを食べようというかたちでですね、ちょっとやってみたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（能登谷正人君） おそらくこれからいろんな農協さん漁協さん、商工会さん等とも話し合いがあると思いますので、いろんな方法で、是非行政側でも手助けをお願いをしたいと思います。これに伴って、農林課のほうには何かないですか。いいアイデアとか。例えば牛乳なんかでも何本かただで配るとか。それは無理としてでも例えばそういうような、酪農

家を助けるためにもこんなことをしたほうがいいんじゃないかとか、そういうようなアイデアがありましたら、ぜひ農林課のほうに電話でもしていただければ大変ありがたいと思います。ほかにはないですね。それではその他はないですね。

### ◎ 閉 会

○議長（能登谷正人君） それでは、以上を持ちまして全員協議会を終わらせてもらいます。大変ご苦労様でした。

[ 閉会 午後 1時35分 ]